



金立神社境内にある案内と石碑

諸富町大字寺井津にある金立神社下宮（金立権現社跡）に「徐福上陸地」の石碑が立っています。



金立神社と徐福像

堂の中には徐福像が祀られています。

一行が上陸した場所は一面の葦（アシ）原で、それを手でかき分けながら進みました。そのため片方の葉だけが落ちてしまったそうです。現在もこの一帯には片方しか葉をつけないアシが生えています。この時落ちた葉は、「エツ」という魚になったとも言われています。

エツはカタチイワシの一種で、「斉魚」と書きます。成魚で30～40cmになり、ペーパーナイフのような細長い形をした魚です。有明海に流れる川にしか生息しておらず、珍しい魚です。昔、筑後川を渡ろうとした弘法大師が貧しい漁師を助けた話として、葦の葉がエツになったという話も伝わっています。



片葉の葦